



RÉMY COINTREAU

報道関係各位

2022年1月25日

レミー コアントロー ジャパン株式会社

セラーマスターの精緻なブレンドがなせる至高の芸術『レミーマルタン VSOP』

2022年1月末からすべてのギフトボックス廃止

※環境改善プロセスを推進、2050年にはゼロ・エミッションの達成を視野に



1724年にフランス・コニャック地方にて創業されて以来、およそ300年間、セラーマスターたちが紡ぐ精緻なブレンドが創り出す『レミーマルタン』。その力強さとエレガントさの絶妙なバランスが高い評価を受けるコニャックを展開するレミー コアントロー ジャパン株式会社（東京都港区／代表取締役代理ティレル・ポール）は、環境に配慮する姿勢をさらに貫くため、『レミーマルタン VSOP』を装ってきたギフトボックスをすべて廃止することをお知らせいたします。今回のプロセスは全世界同時の実施となるもので、日本では2022年1月21日以降の発送から適用いたします。これによって、当グループがテロワールへの敬意を表すとともに、メゾンが以前より推進する環境保護活動へのコミットメントを確かなものにする取り組みのひとつになることを期待しています。

コニャック地方で誕生したブランデーのみをコニャックと呼称することから、レミーマルタンではかけがえのないテロワールを尊重し、自然を守り、次世代へつなぐとともに、より質の高い葡萄栽培を目指して、農業国家であるフランス政府が制定する*高環境価値認証（Haute Valeur Environnementale）への取り組みにいち早く着手。パートナーのワイングローワー（葡萄栽培農家兼ワイン醸造家）と協働して生物多様性に配慮し、環境負荷の低い葡萄栽培を推進し、2012年には最も高いレベルで継続的な環境改善プロセスを進めている企業として認定されました。

*高環境価値認証とは、生物多様性の保全、植物防疫戦略、施肥管理、水資源対策に関して規定を順守した農業事業者に与えられる3段階あるうちの最高レベルの認証です。

このたび採用したギフトボックスの廃止の取り組みは、世界的にますます広がるSDGsのなかでも着手すべき課題として注目されているカーボンオフセットへの活動を強めていくべく、その第一弾としての段階としての意味をなしています。レミーマルタンでは、メゾンだけでなく、メゾンを包括する「レミー コアントロー グループ」全体で、今後、2024年に30%、2030年には50%、そして2050年にはゼロ・エミッションを達成すべく、土壌に生きる生物多様性を保つ試みとともに、環境改善への取り組みをさらに強めてまいります。

■レミーマルタンとは（公式HP：<https://rcjkk.com/remy-martin/>）

290年以上にわたり、自然の恵みである良質の葡萄の潜在的なアロマを表現してきた『レミーマルタン』。ボトルに隠された深奥な芳香は、内に秘めた才知の力を、そして神々しく輝くケンタウロスのロゴは、多彩な能力を発揮し活躍する姿を表しています。多彩な才能を表現する、新たな時代のリーダーたちに相応しいアイコンです。レミーマルタンはすべてフィーク・シャンパーニュ・コニャックです。